

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
我孫子市こども発達センターひまわり園		令和7年 3月18日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20 (100%)	0	プレイルーム(1部屋10人定員)は36㎡、遊戯室は18㎡あり、基準をクリアしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	20 (100%)	0	ひまわり園では通常こども3人に対し職員1人の配置をしています。また、活動や目的に応じた配置を行うよう、打ち合わせを行い検討をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、センターの設備等はバリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	20 (100%)	0	こども本人がこの部屋で何をやるかがわかりやすいよう、パーテーションを使用したり、机や本棚の配置などを工夫しています。バリアフリー化として、センターではエレベーターや手すりを設置しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	20 (100%)	0	清潔を保つため、委託業者や職員による清掃と療育後の消毒をこまめに行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	20 (100%)	0	静養室があり、必要時はいつでも使用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	20 (100%)	0	個別支援計画で個々に合わせた目標を設定し、半年に1回評価と見直しのための面談を行っています。朝の打ち合わせと療育後の振り返りで日々の療育について検討し、業務改善に繋げています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20 (100%)	0	毎年1回評価表を回収し集計することで保護者の意向を把握し、職員に周知することにより意識を高めながら業務改善を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20 (100%)	0	人事評価面接や必要に応じて職員と話す機会を設け、職場環境改善を行っています。ひまわり園職員による会議を月に1回程度行い、職員の意見を把握しています。	
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会やセンター内等で研修を開催する機会が確保されているか。	20 (100%)	0	すくすく学習会、摂食指導等こども発達センター主催の研修や、千葉県通園施設連絡協議会、市役所等の研修に参加する機会を設けたり、計画的に園内研修を実施し職員の資質向上を図っています。	
適切な支援の提供	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	20 (100%)	0	「発達支援(本人支援)の5領域」「ひまわり園の活動内容と具体的なねらい・目的の例」を配布し、説明することで周知しています。	
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(個別支援計画)を作成しているか。	20 (100%)	0	児童発達支援管理責任者が、こどもの様子や環境、日常生活全般の状況等について丁寧に聞き取りを行い、総合的な支援方針や支援目標、課題、支援の具体的な内容等を記載した計画を作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ています。	
	12	児童発達支援計画(個別支援計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20 (100%)	0	児童発達支援管理責任者と担任がこどもの様子等を確認しながら作成しています。	
	13	児童発達支援計画(個別支援計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20 (100%)	0	児童発達支援計画(個別支援計画)に基づき、日々の療育内容や支援方法を職員間で検討しています。	
	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20 (100%)	0	センター独自のアセスメントツール(部分統合保育実施における基準表、集団生活に向けての行動チェック表等)を使用して客観的に評価するとともに、インフォーマルなアセスメント(行動観察や保護者からの聞き取り等)でこどもの様子を確認しています。	
	15	児童発達支援計画(個別支援計画)には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	20 (100%)	0	児童発達支援計画(個別支援計画)には、5領域に基づいた「発達支援」「家族支援・地域支援」の項目があり、個々に合わせた目標や支援内容が記載されています。	

適切な支援の提供	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20 (100%)	0	クラス担任が参加する会議や日々の打ち合わせ等でアイデアを出し合いながらプログラムを組み立てています。	
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	20 (100%)	0	様々な活動が楽しめるように、週案会議、クラス担任会議、職員会議等で情報交換をしながら、職員間で意見を出し合い活動内容を決めています。	
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画(個別支援計画)を作成し、支援が行われているか。	20 (100%)	0	こどもの様子を的確に捉えることができるように、担任と児童発達支援管理責任者が情報を共有しながら一人ひとりに合わせた計画を作成しています。	
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20 (100%)	0	朝礼後、各クラスで打ち合わせを行い確認しています。	
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20 (100%)	0	療育後、各クラスで活動内容、介助方法、こどもの反応等を確認しながら、次の療育に反映できるように取り組んでいます。	
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20 (100%)	0	一日の様子や活動内容等を活動プログラムや個人記録に記入し、すぐ確認できるようにファイリングしています。	
	22	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画(個別支援計画)の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	20 (100%)	0	半年に1回、保護者、担任、児童発達支援管理責任者が3者面談を実施し、評価と見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	20 (100%)	0	児童発達支援管理責任者が出席し、適宜サービス調整会議を行っています。	
	24	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20 (100%)	0	我孫子市療育・教育システム連絡会に出席し、情報共有や意見交換をしながらシステム構築を行っています。	
	25	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20 (100%)	0	移行支援として併用児クラスを立ち上げ、療育や訪問を通して大きな集団へスムーズに移行することができるように支援しています。保育所等訪問支援「おひさま」では、在籍園での直接支援を行い、在籍園や保護者と情報共有しながら支援を行っています。	
	26	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20 (100%)	0	就学支援委員会に出席し関係機関と情報共有することで、就学に向けてスムーズに移行できるように支援しています。特別支援学校とは訪問、書面、面談を実施し、通常校とは必要があれば面談、なければ書面で引継ぎを行っています。	
	27	地域の障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	20 (100%)	0	我孫子市療育・教育システム連絡会における児童通所支援部会に出席し、情報共有や意見交換を行い、資質向上に取り組んでいます。	
	28	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	20 (100%)	0	こども発達センター療育・相談系の専門職との連携を積極的に行い、助言等を療育に活かしています。年2回外部講師を招き、摂食指導を受けています。千葉県通園施設連絡協議会の会議や部会、研修等に参加しています。	
	29	療育・教育システム連絡会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	20 (100%)	0	我孫子市教育・療育システム連絡会や子ども子育て会議等に積極的に参加し、情報交換を行っています。	
	30	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	20 (100%)	0	統合保育、部分統合保育、交流保育等、地域の園との交流を積極的に行っています。	
	31	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20 (100%)	0	毎日の送迎時に家庭での様子をこまめに聞き取ったり、ひまわり園での様子を伝えたりするようにしています。保護者からの相談には迅速に対応し、療育について共通理解を持てるようにしています。	

保護者への説明等	32	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・プログラム等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20 (100%)	0	ペアレント・プログラムを実施し、保護者がこどもの特性を踏まえた関わり方を学ぶ機会を設けています。保護者が参加できる研修として、子育てセミナーを実施しています。
	33	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	20 (100%)	0	契約時や年度初めの保護者説明会、その他必要に応じて説明する機会を設けています。
	34	児童発達支援計画(個別支援計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、家族の意向を確認する機会を設けているか。	20 (100%)	0	児童発達支援計画(個別支援計画)は、児童発達支援管理責任者がこどもの様子や家庭の状況、保護者の主訴等を丁寧に聞き取り、作成しています。
	35	児童発達支援計画(個別支援計画)を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	20 (100%)	0	児童発達支援管理責任者と担任、が面談を行い、児童発達支援計画(個別支援計画)について丁寧に説明し、保護者の同意を得ています。
	36	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20 (100%)	0	半年に1回、保護者、担任、児童発達支援管理責任者が面談を実施し、評価と見直しを行っています。保護者から相談があった際は迅速に対応し、面談等で支援を行っています。
	37	父母会の活動を支援することや、保護者説明会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20 (100%)	0	年度初め等に保護者説明会を開催し、ひまわり園の療育について説明することで保護者の理解を得ています。行事で配布するプレゼント等の助言を行い、父母会の活動を支援しています。
	38	保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20 (100%)	0	保護者説明会で相談窓口(事務所)について説明し、申入れがあった際は迅速に対応しています。
	39	定期的に通園だより等を発行することや、ホームページやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信しているか。	20 (100%)	0	月1回通園だより、保健だより、給食だよりを発行し情報を提供しています。我孫子市ホームページにはこども発達センターの情報が掲載されています。X(旧Twitter)では、月1回実施する避難訓練の様子や、災害時の緊急連絡等を発信しています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20 (100%)	0	個人情報同意書に基づき、取り扱いについて十分留意しています。個人情報の取り扱いについて、全職員が研修を受けることで周知しています。
非常時等の対応	41	支援が必要なこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20 (100%)	0	絵カードやホワイトボード等を利用して、視覚的な支援を行うことで、理解しやすくなるための配慮を行っています。
	42	危機管理マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20 (100%)	0	マニュアルは毎年内容を見直ししながら、年度初めの保護者説明会で保護者に周知し、閲覧できるように階エレベーター横に設置しています。月1回避難訓練を計画的に実施しています。
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20 (100%)	0	業務継続計画(BCP)を策定し、職員に周知しています。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	20 (100%)	0	看護師や児童発達支援管理責任者が、保護者から丁寧に聞き取りを行っています。保護者には書類等の提出をお願いしています。
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	20 (100%)	0	年に1回指示書を提出してもらい、看護師や児童発達支援管理責任者が、保護者から丁寧に聞き取りを行っています。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	20 (100%)	0	安全計画に基づき、計画的に職員研修や避難訓練を行い、安全への意識を高めながら安全管理を行っています。
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20 (100%)	0	保護者説明会等で安全計画について丁寧に説明し、手洗い体験や避難訓練に参加してもらうことで安全管理について保護者に周知しています。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20 (100%)	0	ヒヤリハットが起きた際は報告書に記入し、必要がある事例に関しては報告や閲覧で職員に周知し、今後の対応について検討しています。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20 (100%)	0	虐待防止について、研修を受けた職員が園内研修等で報告し全職員に周知しています。
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20 (100%)	0	虐待防止検討委員会を開催し、身体拘束について確認、検討、決定を行っています。保護者には身体拘束について丁寧に説明し同意を得たうえで実施しています。実施報告書等に記録し、身体拘束解除に向けて検討しています。	